

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称
製品名 3M フィネッセイット フィニッシングマテリアル

会社情報
会社名 株式会社 MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX 番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M161228

推奨用途及び使用上の制限
一般工業用途

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性
引火性液体 区分 4

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（肺）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 区分 3
水生環境有害性（長期間） 区分 3

この混合物の約 80%は水生環境有害性が不明である。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険
可燃性液体
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

[安全対策]	熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
[応急措置]	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
[保管（貯蔵）]	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。
[廃棄]	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性
情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲（wt%）
水	7732-18-5	-	40-70
石油留分（水素処理ライト留分）	64742-47-8	-	10-20
石油留分（酸処理ライト留分）	64742-14-9	-	5-15
酸化アルミニウム	1344-28-1	1-23	3-10
グリセリン	56-81-5	2-242	3-10
白色鉱油（石油）	8042-47-5	-	1-5

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移動させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

11 項目を参照すること。

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（一酸化炭素、二酸化炭素）が発生する可能性がある。
火災による加熱で、容器の圧力が上昇し、爆発するおそれがある。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

十分な換気を行うこと。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

漏出部をベントナイト、バーミキュライトや無機吸着剤で覆う。乾燥するまで十分に混ぜる。

吸着剤は使用者の身体、環境へ害のないものを使用すること。可能な限り漏出物を回収し、適切な密閉容器に入れる。残留物は適切な溶剤できれいにする。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

ダスト、フューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸い込まないこと。

眼、皮膚、衣類に付かないようにすること。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を接地すること、アースをとること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

接触回避

混触禁止物質

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

混触禁止物質

酸化剤（塩素、クロム酸等）

保管条件

換気のよい場所に保管する。凍結を避ける。食品や医薬品の近くに置かない。

容器包装材料

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV-TWA (2016)	1 mg/m ³ （アルミニウム金属及び不溶性化合物（吸入性粒子）） 5 mg/m ³ （鋇物油（金属用切削油を除く）（高純度及び高精製））（インハラブル粒子） 200 mg/m ³ （ケロシン、ジェット燃料（トータルハイドロカーボンとして））（エアロゾルに対するばく露が無視できる場合）
日本産業衛生学会（2015）	0.5 mg/m ³ （第1種粉塵（アルミナ）；吸入性粉塵）、2 mg/m ³ （第1種粉塵（アルミナ）；総粉塵） 3 mg/m ³ （鋇油ミスト）

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄剤のための設備を設ける。
高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。換気装置が十分でない場合は、呼吸用保護具を用いること。

保護具

呼吸用保護具	有機性蒸気や微粒子に適したハーフマスクもしくはフルフェイスの空気浄化呼吸器を使用する。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋（フッ素ゴム、ニトリルゴム製）を着用する。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、サイドシールド付きの保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	液体、クリーム状の白色濃厚液
臭い	特異臭
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	100℃
引火点	93℃
蒸発速度	4.4（エーテル＝1）
燃焼性	該当しない
燃焼範囲の上限・下限	上限：6.00%、下限：0.80%
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	1.00（空気＝1）

密度	8.15-8.39 lb/gal
比重	0.98-1.01（水＝1）
溶解度	ごくわずか
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	10,000-16,500 cps

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光を避け、冷暗所に保管する。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	頭痛、めまい、眠気、協調不能、吐き気、反応時間の低下、不明瞭言語、気絶等の症状を含む中枢神経衰弱のおそれがある。
-----------------	--

成分の有害性情報

石油留分（水素処理ライト留分）

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ >3,160 mg/kg
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット LC ₅₀ >3 mg/L

酸化アルミニウム

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット LC ₅₀ >3 mg/L
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	上気道刺激性の報告がある。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	酸化アルミニウムの職業ばく露により、肺に腺維症が認められた。

グリセリン

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
----------	-----------------------------------

流動パラフィン

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ >2,000 mg/kg

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

石油留分（水素処理ライト留分）

水生環境急性有害性	魚類（ブルーギル）96 時間 $LC_{50}=2.2$ mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。焼却処分をする際にも、産業廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	情報なし
品名	情報なし
国連分類	情報なし
副次危険性	情報なし
容器等級	情報なし

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	情報なし
品名	情報なし
国連分類	情報なし
副次危険性	情報なし
容器等級	情報なし
海洋汚染物質	情報なし
IBC コード	情報なし

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	情報なし
品名	情報なし
国連分類	情報なし
副次危険性	情報なし
容器等級	情報なし

国内規制

陸上規制情報	消防法に該当する
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（灯油、酸化アルミニウム、ミネラルスピリット、鉱油）（1 重量%以上を含有する製剤その他の物） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（灯油、鉱油）（0.1 重量%以上を含有する製剤その他の物）（酸化アルミニウム、ミネラルスピリット）（1 重量%以上を含有する製剤その他の物） 第 3 種有機溶剤等（ミネラルスピリット）（有機溶剤を 5 重量%を超えて含有するもの）
水質汚濁防止法	指定物質（アルミニウム及びその化合物）
水道法	有害物質（アルミニウム及びその化合物）
消防法	第 4 類引火性液体、第三石油類非水溶性液体
海洋汚染防止法	有害液体物質（Z 類物質）（グリセリン）
じん肺法	法第 2 条、施行規則第 2 条別表粉じん作業（アルミナ） 粉じん

16 その他の情報

参考文献

株式会社 MonotaRO 提供資料
NITE GHS 分類結果一覧（2016）
日本産業衛生学会（2015）許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2016) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意下さい。本 SDS の記載

内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。